

IGT ドライングタイムテスター

吸収性と乾燥時間の測定



ドライングタイムテスターは、紙、カートン、プラスチックフィルム・メタルフォイルに印刷されたインキの吸収性及び乾燥時間を測定できます。その他、塗工・ラミネート材のセットオフ試験にも対応できます。

オペレーション：

ドライングタイムテスターは、等間隔に8つのテストステーションを装備しています。ステーションは、それぞれに25mmの幅のプレッシャーアプリケーションローラーとカウンターローラーから構成されています。

印刷・ラミネートサンプルは、評価面を上にして合い紙か同じ紙の裏側と併せて、取り付け、一定の速度（定速）で、ステーションを通過させます。ウェットインク・フィルムは、インク・フィルムが完全に乾燥しているまで、合紙上の25mm幅全体にセットオフ（裏移り）させます。

それぞれのサンプルの乾燥時間に至るまでの経過として、選択された速度条件の影響を受けながら、合紙にセットオフ（裏移り）されたインキの長さや濃度を測定して評価します。試験速度は、シングル速度タイプの場合は、50Hzの条件で、10mm/hと100mm/h、60Hzの条件では、12mm/hと120mm/hから選択できます。可変速度タイプは、10-200mm/h間で選択できます。

様々な試験方法：

標準的な試験として、試験サンプルの印刷面を上にして合紙を載せ、下面にも紙を敷きます。そして、これらのサンプル紙を、試験器のニップに差し込みます。

印刷サンプルを上か下に置くことで、結果に多少の影響を及ぼします。従いまして、正確な試験結果を出すためには、サンプルの取り付け方法・ポジションを決めておく必要があります。正確な試験結果と高い再現性を出すためには、試験サンプル上下の両方に合紙ではさむように装着し、ステーションを通過させることは可能です。

さらに、PVC、セロハンやメタルラミネート紙などのような非吸収性の試験材に対してのサンプルに対しても、セットオフ（裏移り）印刷試験が可能です。インキフィルムの乾燥経過やセットオフ特性の影響による紙への通常のセットオフでの吸収特性というものがなくとも、より決定的な検査をすることができます。非吸収性の試験材であっても、セットオフ紙（合紙）を載せることで、印刷・試験が可能です。その他の試験方法として、非吸収性のカウンターサンプルを使用することを検討に入れても良いかも知れません。

テスト結果の評価

アイジーティ・テストシステムズ株式会社
〒285-0811 千葉県佐倉市馬渡1229-1
電話： 043-308-7302 FAX: 043-308-7304
Mail: info@igt.co.jp www.igt.co.jp

IGT ドライングタイムテスター

吸収性と乾燥時間の測定

乾燥時間は、カウンター印刷（合紙への印刷）の長を測定することにより容易に評価できます。測定は、カウンター紙（合紙）へインキが転移していないポイントまでの印刷部の長さです。カウンター印刷（合紙印刷）の長さをセット速度（試験速度）で割ると、乾燥時間が計算できます。

テクニカルデータ

電 源 : 230V/50Hz (115V/60Hz), 1A
試験サンプル幅 : 30-48 mm
試験サンプル厚 : max. 1.5 mm
試験サンプルステーション: 8
印刷厚: 20 N/cm, / 試験サンプルステーション
重 量: 21 kg

試験速度:

- 100 mm/hour
- 10 + 100 mm/hour
- 10 + 1000 mm/hour
- 100 + 1000 mm/hour
- 10-200 mm/hour 可変

代 理 店



アイジーティ・テストシステムズ株式会社
〒285-0811 千葉県佐倉市馬渡1229-1
電話 : 043-308-7302 FAX: 043-308-7304
Mail: info@igt.co.jp www.igt.co.jp